



# 高道小だより

令和6年10月16日

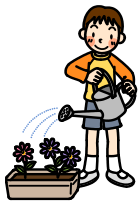
第10号

文責 柳井 雅衣

共感力（にこにこ） 考動力（はきはき） やり抜く力（こつこつ）

## 前期終了、後期につなぐ

先週11日に前期の終業式を  
 昨日は後期始業式を行いました。  
 子どもたちは、静かに体育館に  
 入場し、落ち着いて話を聴き、  
 意見発表や感想交流ができました。集団  
 で動く時に必要な判断力、目の前にいる人  
 を大切にしようと考え行動する姿でした。  
 1年生：交通安全に気を付けて、上級生と  
 しっかり歩いて登校できるようになった。  
 2年生：友だちと楽しく遊び、相手に優し  
 く接する思いやりの姿がたくさん見られた。  
 3年生：落ち着いて学習する姿、自分たち  
 で考えて動こうとする姿が光っていた。  
 4年生：学習リーダーを経験しながら、自  
 分達で授業をつくっていく力が伸びた。  
 5年生：よりよい学級にするために、自分  
 たちで課題を決めて話し合い、取り組めた。  
 6年生：最高学年として登校班長や委員会、  
 縦割り班等でみんなをリードしてくれた。



始業式は、前田教頭先生が  
 「千里の道も一歩から」につい  
 て話をされました。

夢や目標をもちその実現に向  
 けて一歩踏み出し(考動力)、こつこつ努力  
 をすること(やり抜く力)が大切。友だちと  
 一緒にがんばったね、ドンマイドンマイと励  
 まし合い(共感力)目標を達成してほしい  
 と子どもたちにエールを送られました。

様々な経験を通して学び成長する子  
 どもたち。パトロール隊の方々の見守り、地域  
 の先生の学習支援、保護者の皆様の協力  
 のおかげです。ありがとうございました。  
 後期も、子どもたちがなかよく、かしこく  
 たくましく成長できるように、みんなで取  
 り組んでいきましょう。お世話になります。

## 心に残る言葉

「日本人は他者に感謝し、恩を感じて  
 助け合うことのできる精神性を宿し  
 ています」 ~石原 結實~

## つながりの中で 育まれる心

6日(日)には、岱明町支館対抗体育祭が開催  
 されました。本校の子どもたちも大勢参加しま  
 した。真夏のような日差しを受けながら各地区  
 の老若男女が一緒に励まし合い、笑顔  
 で競技に参加される様子に、応援する方も力  
 が入り感動を覚えました。それは、年代を超え  
 ての人と人とのつながりが脈々と続いている  
 ことの素晴らしさ、それを支え続けておられ  
 る地域の皆さまの思いを感じたからです。参加  
 した子どもたちは、たくさんの大人たちから  
 温かい励ましや愛情をもらった嬉しさを感じ  
 じたのではないのでしょうか。このような体験の  
 一つ一つが、心のふるさとを育みます。

秋には、人と人とのつながりが感じられる地  
 域やPTAの行事がいくつも計画されています。  
 ぜひ参加をなさってください。



## 主体性を発揮する子どもたち

自分たちの学校を自分たちのアイデアで楽  
 しくしようと、各委員会で意欲的に取り組んで  
 います。今回、運営委員会さんが石川県災害  
 応援募金を企画しました。困難な状況にある  
 方々へ思いを馳せる行動は頼もしい限りです。  
 皆様、どうぞご協力をお願いします。こうした  
 取組で、未来の創り手である子どもたちに  
 主体的に物事にかかわり、いろいろな人と  
 協働する力を育てていきたいと思ひます。